

本庄南ロータリークラブ

会報

例会日 毎火曜日 19:00~ 20:00
例会場 埼玉グランドホテル本庄
事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-004 本庄市駅南 2-2-1
Tel : 0495-23-0141 / Fax : 0495-23-0141
E-mail : rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 矢部 一臣 会報広報委員会 / 委員長 飯塚能成
幹事 星野 栄一 / 委員 木村真純 堀川 明



第 71 回例会 1 月 13 日 (火) 発行 平成 2 年 1 月 20 日

司会 / 奈良橋秋夫 SAA
点鐘 / 19 時 00 分 矢部一臣会長
ソング / 我らの生業
四つのテスト
雪山賛歌

ゲスト / 国際ロータリー 第 257 地区 ガバナーエレクト 加藤 玄静 様
国際ロータリー 第 257 地区 パストガバナー 高橋 福八 様
本庄 R C 武井 包光 様
本庄 R C 岡崎 正六 様
本庄 R C 今泉 憲治 様
本庄 R C 矢島 淳一 様
本庄 R C 坂本 優蔵 様

早稲田大学院 国際情報通信研究科 米山奨学生 金相賢 様

会長挨拶

矢部一臣 会長



国際協議会 (International Assembly)

皆さん 今晚は、

本日、卓話を頂くことになっている加藤玄静ガバナーエレクトにおかれましては、お忙しい時期に当クラブに来て頂き、大変有難く、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

そして、加藤ガバナーエレクトの所属クラブであり、当本庄南 R C の親会の本庄 R C 様からは、多くの皆様にメイクアップに来て頂きました。いらっしやいませ。そして、ありがとうございます。また、過日の 4 クラブ合同例会、その後の新年会と本庄 R C 様におかれましては、ホストとして、各会の運営をして頂きましたこと、重ねて感謝申し上げます。ありがとうございます。

最近、マイクロソフト日本法人の社長から独立し、投資コンサルティング会社の社長となった成毛眞氏の「本は 10 冊同時に読め」という本を読みました。成毛眞氏は、ビジネス界きっての読書家としても評判です。

そのなかでは、「超並列読書術」を紹介しています。それは、場所ごとに読む本を変えて、同時に何冊もの本に目を通していく読書術です。

私も、今までは、1 冊の本を読み終えて、次の本を読むことを原則としていましたが、最近、鞆の中、枕元、自動車の中、トイレ・・・等々、それぞれの場所に様々な本を置いて、併読するようになりました。面白い本は、他の場所へ移動して一気に読む、つまらないと感じた本は、とりあえず目次を見て自身は読み飛ばし読みして終わりにしたりもしています。

氏は、「超並列読書術」で同時に読むのは、なるべくバラバラのジャンルの本がいい。しかも、極端な本がいいだろう (氏は「ぶっ飛んでいる本」という)。自分の職業とは直接関係のない本で、江戸時代の文化の本と物理学の最先端の本、屋久島のコケの本と、三谷幸喜のエッセイというように、ぶっ飛んでいるほうがいいだろう。と書かれています。なぜなら本のジャンルやテーマによって、刺激される脳の部位が異なるので、バランス感覚や多角的な視野を培い、アイデアの引き出しが増える。すると、街中を歩いているときにも他人の気づかない

アイデアの種を拾えるようになる。と書かれています。

「超並列読書術」とは、これからの時代を生き抜く上で必須な「アイデア力」を飛躍させる一番良い方法である、また、本を読まないで、今現在のことしかわからない。だからみんなと同じ生活を送る道しか見えない。歴史や文化を知れば、現在がすべてではないとわかるはず。どうせ本を読むのであれば、中身を充実させるような本を読むべきだろう。と書かれ、タイトルの通り 本は10冊同時に読むことを勧めています。(今回のロータリー情報は、国際協議会(International Assembly)です。今回は、卓話例会でもあり、会報に別記しました。)

幹事報告

星野栄一 幹事



本日は、加藤玄静ガバナーエレクト、本庄ロータリークラブの皆様、ありがとうございます。また、過日の4クラブ合同例会、新年会では、大変にお世話になりました。

会員の皆様、会費の納入につき、ご協力お願いします。

第10回バーミンガム国際大会の案内がきています。来る1日に福島会員のお嬢様のバイオリンコンサートがあります。

2月7日のIMは全員で参加したいと思いますので、よろしくお願いします。

ゲスト挨拶

本庄RC 武井包光様、岡崎正六様、今泉憲治様、矢島淳一様、坂本優蔵様

・・・来年は、当クラブの加藤玄静会員がガバナーとなります。

皆様、よろしく、お願いします。



岡崎正六様



今泉憲治様



矢島淳一様

米山奨学会の感謝状贈呈

本庄南RC 米山奨学会
担当 戸谷全克 会員

- ・・・山田勝治会員が米山功労者になりました。第4回のマルチプルになりました。ありがとうございました。



卓話(抜粋)



テーマ

楽しいロータリークラブを

おくるには、

国際ロータリー 第2570地区
ガバナーエレクト
加藤 玄静 様

皆さん 今晚は

先週は、4クラブ合同例会そして新年会、ありがとうございました。久しぶりに親子4クラブでの例会が開催されました。気楽に親子4クラブで行ったり来たりできればいいと思います。

本庄RCからガバナーがでるのは、2570地区が埼玉県の東南部と西北部の2つに分かれてから、岡ガバナー、高橋ガバナーに続き3人目になりますが、今、ガバナーエレクトとしての責任を感じているところです。

日本では、3万人のロータリアンがやめています。会員は、12万人を超えていましたが、今は、9万人代になっています。退会理由をみると「事業多忙」が7割位で、他の3割の理由が死亡、健康上の問題ということが報告されています。しかし、それを真に受けることはできません。事業多忙で本当にやめるのでしょうか？アンケート等によると実際には、ロータリーに入っている自分にとってプラス面が少ない。ロータリークラブそのものが地域社会に或いは国においてどれだけの存在価値があるのだろうか？・・・そんなことを考えてやめている人が大半です。私は、この責任は、まず、会長にあると考えています。即ち、会長は、1年間、リーダーとして、会の活動の中心である例会をどのように運営していくかを考えて、例会を大切にしていこうと必要があると考えます。会長は、例会への出席を大切に考えて例会に出席する会員が例会を終わって、今日の例会は、有意義だった、楽しかったと感じさせる例会運営に努める必要があります。毎回の例会が終わって、有

意義だった、楽しかったと感じてもらえれば、次回、また、例会に参加するわけです。会長は、とにかく、一年間、為になる有意義な楽しい例会開催に務めて欲しいと思います。

ロータリークラブにも手続要覧・定款細則の約束事がありますが、ルールの厳格さばかりにとらわれることなくロータリーの精神を学ぶことも大切だと思います。

私が会長のときには、例会において、地区を知るためにパストガバナーシリーズ、本庄クラブの歴史を知るために、パスト会長シリーズ、12ヶ月の月間に関しては、地区の役員を招いて事業への理解を図る等、例会を工夫しながら、ロータリーを学ぶことを実行してみました。

また、ロータリー情報以外の面では、会長としてルートがある各専門家等の話を伺う、ロータリーでなかったら、呼べないような講師を呼ぶ、ロータリーでなければ、出来ない事をする、ロータリーで無ければ行けない所へ行く、という活動をするのも大事であると考え、例会を会長自ら企画してみました。奉仕の理想を持つ職業の専門家の集まったロータリーでなければ、聞けない話を聞く、出来ないことをする、行けない所へ行くといくといったロータリアンならではのメリットを会員に受けてもらうことを実行して欲しいと思います。

例会がつまらなくて、為にならなければ、そんな魅力がない例会に出席しなくなる、結果的にロータリーに魅力を感じられなくなり、退会をしていくという会員が多いわけです。

ロータリーというのは、例会が原点ですから、先ず、例会に出てもらえるようにすることが最も大事であるということです。

例会では、ロータリー情報の他、会員の親睦が大事です。いろいろな方法でコミュニケーションを図る方法を考えることが重要です。ロータリアンが互いに誘い合うことができるのは理想的なことです。相手を思いやり、互いが友情をもって、誘い合いのできるクラブづくりをすべきです。

新入会員は、ロータリーに関する情報も乏しく、他の会員との親睦も図りづらいわけです。入会を勧めた推薦会員、指導顧問において、気をかけていく必要があります。

例会を面白く為になるものとする他、できれば、例会以外でも会って、友情を深めていって欲しいと思います。

今年は、丑年ですが、皆様も記憶のとおり、今までの丑年は、社会的、政治的、経済的にもあまり良い年はありませんでした。

しかしながら、そういった年に全部の企業が悪かったのかというと、そういう中でも、伸びている企業もありました。こういう不況の時こそ、伸びるチャンスがあるという人もいます。それは、経営者の決断であり、経営者が、今までに如何に経営に対して真剣に取り組んできて、それが身についているかどうかということが問題になります。即ち、経験がものをいうわけです。他人が教えてくれることは全て身につくことではありませんが、自分が見ている事は、自分で吸収できます。例えば、親のすることを子供は見ています。親がしていることを、子供は

していくということが言えます。

「宗教は、心の方向転換」というレジメを用意しましたが、「ロータリーは、心の方向転換」ということもできます。今までに知らなかった会員がロータリーに入ったことによって知りあいになる。

24時間の時間が短いといっても、これを無駄にすれば一日一日は空しく早く終わってしまいます。「一日一生」という言葉を使いますが、これは、一日一日を一所懸命に生きることです。例え、苦しいことであっても今日一日と思えば、それに耐えられます。どんな楽しいことがあっても、それが一日と考えれば、それにおぼれる事はありません。

そういった「一日一生」という気持ちで私は、11日間アメリカに行き、サンディエゴの国際協議会に臨んできたいと思います。帰ってきましたら、いろいろな方法で皆様にご報告したいと思います。ロータリアンとして一回り大きくなって帰ってくるつもりです。よろしく、ご支援の程、お願い申し上げます。本日は、ご清聴、ありがとうございました。

例会基調卓話テーマ

「楽しいロータリーライフをおくるためには」

ガバナーエレクト 加藤玄幹

あらゆるスポーツにルールが有るように、私達が所属するロータリークラブにも手続要覧・定款細則の約束事があります。

私達が長期目標や年度計画を企画立案するうえで、社会のニーズを把握し職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕活動を行います。執行に当たってはルールの厳守が必要ではないでしょうか。

このルールとは、ロータリー精神であります。

これを学ぶには、ロータリーに入会後は、あらゆるレベル(国際・地区・クラブ)の活動に参加する事です。この事は自分のロータリー活動を通して証明できます。

又、同時に多くの役職を受けるべきでしょう。時にはリーダーとなり、又補佐役として委員として、組織運営の中で学びとる事も大きいでしょう。

但し、事業を推進する上で、「面白くて為にならなければ」会員の参加意識が薄れてしまい、退会に結びつく事さえあります。

重ねてお願いすることは、積極的に例会に出席し、あらゆる奉仕活動に参加をし、そして与えられた役職を精一杯務める事がロータリーを知る最大最短であり、「楽しいロータリーライフをおくる」事に繋がると確信いたします。

平成2年「丑年を迎えて」

平成2年は丑年である。十二支では牛があられた。牛は十二支の二番目。家畜としての牛即ちイエウシ(家牛)が、一般的なイメージ。

古来より牛は人間との関わりが深かった。農耕やミルク、交通、運搬は勿論宗教的な面にも重要な役割を果たしてきたのである。

・正月の起源

正月の起源は「年籠り」という行事にある。「年籠り」とは、大晦日の夜から元旦にかけて村の氏神様などに籠り、先祖の霊をお迎えすることです。この「年籠り」の風習が夜にお参りする「除夜詣」となり、元旦にお参りする「初詣」となるとされている。又、一般庶民の間に「初詣」が定着したのは江戸時代である。

・仏教と牛

牛は世界中に広く飼われている家畜。労働力、乳、肉、闘牛など人との関わりはきわめて深い。しかし印度では神聖な動物とされている。仏典にもしばしば登場する。実際、お釈迦様の幼名であるゴータマ・シッダルターのゴータマは神聖なる牛という意味。

・「牛」のつくことわざ

牛馬に踏まれぬ	商いは牛のよだれ
牛の小便十八町	牛売って馬を買う
牛の尾を切ったよう	牛売って牛にならず
牛歩	牛刀をもって鶏を割く
牛に引かれて善光寺詣り	牛の歩みも千里

・「牛」のつく言葉

牛飲馬食（ぎゅういんばしょく）	丑雨（うしあめ）
牛講（うしこう）	牛後（ぎゅうご）
牛片米（うしかたまい）	
牛の籠抜け（うしのかごぬけ）	
牛天神（てんじん）	牛の骨（ほね）
牛起（うしおき）	牛梁（うしはり）

宗教は心の方向転換

・「一日の光陰は短しといえども
これを空しゅうする事なかれ
一夜をすつるは これ汝の命を減ずるなり」
時間を無駄に過ごすことは自分の命を捨てる事です。

・唯識三十頌も俱舍論も世親菩薩の思想
俱舍は世親菩薩の前期教学、円熟すると唯識
仏教に転向する。この転向を「転依（てんね）
という。」

┌ 転とは方向転換
└ 依とは拠り所

迷いの拠り所を、悟りの拠り所に転じる
これを、「転識特智」という「転依」である。
(簡単に言えば、生まれ変わること。)
(例) 水を飲んでも 蛇は水を毒にする
牛は水を乳にする

・今日より、不平不満を心の拠り所にしていた人が、
寺に来たことにより、喜んで感謝する心に拠り所
を置き換える、それが転依である。

人格の形成

・世の中に存在する、あらゆるものを、自分中心に
見て判断している。

・人格が異なる事には、「現行・薫習・種子」が関わってくる。

「身口意」における善悪の業「現行」とは私どもの行為

身体的行為 言葉の行為 心の行為

・「現行」したものは「薫習」され、必ず「種子」として阿頼耶識に残っていく。

「阿」とは無量大を表し

「頼耶」入れ物、蔵

「識」は心の動き

・その種子によって、私どもの人格は変化する。
結果・・・人は皆もつ種子が違うために、人格が異なり、一つの物を見ても違う感想を得る。

仏教は自業自得の教え

人間は生まれによって尊からず、
自らの行為によって尊い人になる。

ゲスト挨拶



早稲田大学院

国際情報通信研究科

米山奨学生 金相賢 様

韓国では、まだ、正月ではありません。旧暦採用ですので、1月2日が正月になります。この正月を旧正月と呼んでいましたけれど、国は、1960年代、70年代に旧正月を国の休日でなくしました。

それで、公務員、国家機関の人達の正月は、新正月（今の1月1日）になりました。

しかし、韓国人の多くは、旧正月は、休みでないのに昔からの旧正月を過ごしてきました。それが、韓国の民主化に伴って、益々、旧正月の方が一般的になり、新正月をするのは、少なくなりました。今は、新正月の、1月1日だけを休んでいる会社が多くて、旧正月に3日間、休んでいます。国が、無理をして、正月を変えようとしたことが、昔ながらの伝統というのを無視して制度を変えても結局、元に戻ってしまいました。

韓国では、「新年、明けましておめでとうございます。」という挨拶でなくて、年下の人が目上の人に必ず、先に挨拶をして、目上の方は、年下の人に「多くの福をもらえますように」と言った、役に立つ、或は、為になる言葉を伝えるというのが伝統になっています。



国際協議会の目的

ガバナーエレクトが研修を受けてくる場所が、国際協議会 (International Assembly) です。

国際協議会の日程は原則6日間。目的は、まず「ガバナー・エレクトに、ロータリー教育を行い、運営上の任務を指導し、鼓舞奨励し、さらに、出席しているエレクトや他の人に、次年度のロータリー・プログラムや活動の実施方法を討議・計画する機会を与えること」にあります。

その協議会の議題には「成果溢れる奉仕プロジェクト、会員組織、ロータリー財団、R I の管理運営要件および会長の年次テーマおよび強調事項の発表が含まれる」こととなっています。

次年度の国際ロータリーのテーマは、ここで初めて、R I 会長エレクトから示され、それについては国際協議会に出席しているガバナーエレクトだけではなく、多くのロータリアンが注目しています。以前は、ガバナーエレクトから送られてくるテーマが書かれたはがきで、次年度のテーマがわかったのですが、現在では、発表直後にR I やロータリーの友のウェブサイトに掲載される記事を見て、知る人も増えています。

時と場所と参加者、経費

協議会の開かれる具体的な時と場所は、R I 理事会により決定されます。2009-10年度の国際協議会は、1月18~25日にかけて、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで開かれます。

協議会の責任者は、R I 会長エレクトです。世界中から集まるガバナーエレクトの数と居住地を考慮し、便利がよく、経済的に運営できる場所で開くこととなります。この開催地を選ぶにあたって、R I 理事会は、ロータリアンが国籍だけを理由として参加できないことのないよう、注意を払う必要があります。

参加者は、R I の中央役員として、会長と理事、会長ノミニー、理事エレクトと理事ノミニー、事務総長、R I 各種委員会委員長です。そして、ガバナーエレクト、R I B I (グレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー) 役員ノミニー、およびその他R I 理事会の指定した人(地域雑誌の編集長を含む)となります。さらに、これら出席者の配偶者が参加します。国際協議会は、次年度7月からガバナーになるガバナーエレクトにとっては、必ずこの協議会の全期間出席しないとその指名が承認されないとされているほど、重要な会議です。このように、特別の目的をもった会合なので、出席者は限定されます。

経費は、「R I の旅行方針に従いガバナー・エレクトおよびその配偶者の経費を支弁する(ロータリー章典 58.070.1)。R I は、会長エレクトより特に全期出席義務を免除されない限り、国際協議会の全期出席を果たすことを前提として、指定された公式参加者と他の者のみの経費を支払う(ロータリー章典 58.070.8)」とされています。

何が行われているのか

協議会は、ガバナーエレクトに、次年度のロータリーのプログラムなどの各種情報を提供する本会議、グループ討論、特別奉仕会議などで構成され、かなりのハードスケジュールです。

協議会で具体的に行われることは、R I 会長エレクトが発表した、次年度R I のテーマとR I の新プログラムの説明と実施モデル、ガバナーがR I の継続中のプログラムと活動を実施する効果的な方法、クラブと地区の指導者に情報を与え、訓練し、意欲を与える実際的技術の指導、などといえるでしょう。

ここで参加者に配られる資料類は、R I によって出版され、印刷されたものに限定されています。使用されている言語は、英語・フランス語・日本語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語です。本会議には同時通訳が提供されています。

また、配偶者の会議 (Spouse Sessions) として、配偶者自身の参加する活動的プログラムが含まれています。これは、ロータリー情報プログラムと、意欲を高めるような本会議と討論の会議で、構成されています。

国際協議会のもうひとつの顔

そんな緊張を和らげるような、楽しい親睦行事も行われます。協議会は、世界中のガバナーエレクトが一堂に会する状況をつくりだすことによって、彼らを励まし、意欲を喚起してもらうために開催される、といった意味合いも含んでいるからです。

親睦行事の中には、毎年恒例の国際祭りの夕べがあります。自国の文化芸能を紹介するかたちのもので、このイベントでは、ガバナーエレクトとその配偶者たちが、練習を積んだ小喜劇や舞踊、合唱などを各国の民族衣装に身を包んだりして工夫を凝らし、繰り広げています。

こうして、研修以外にも親睦を深め、協議会の最終日には手を取り合って「オールド・ラング・ザイン(日本では『蛍の光』として知られている歌)」を合唱し、全世界のそれぞれの地区へ、学び終えた研修者たちは奉仕を行うために、帰っていくのです。

(ロータリージャパンHPから。)

出席報告

奈良橋秋夫 出席委員

会員数	出席	M U	欠席	出席率
22名	12名	4名	10名	72.72%

例会予定

1月20日	会員スピーチ(職業奉仕)	G本庄
1月27日	移動例会(フリーディスカッション)	みさご
2月3日	会員スピーチ(会員組織)	G本庄
2月7日(土)IM		G本庄
2月10日	振替休会	
2月17日	卓話 本庄市倫理法人会 会長 澁澤健司 様	G本庄
2月24日	移動例会 L a l a	

ニコニコボックス

ガバナーエレクト 加藤玄静 様

本日は、卓話をさせていただきます。

また、17日より、アメリカ・サンジェイゴでの国際協議会に出席して参ります。

本庄RC 武井包光 様

いつも、お世話になります。

本庄RC 岡崎正六 様

本日は、お世話になります。

本庄RC 今泉憲治 様

新年おめでとうございます。

先日の合同新年会、お疲れ様でした。

本年も、よろしく、お願いします。

本庄RC 矢島淳一 様

本庄RCが、いつもお世話になっております。

本庄RC 坂本優蔵 様

お世話になります。

矢部一臣会長

加藤ガバナーエレクト、本庄RCの皆様、本日は、ようこそ、いらしゃいました。ありがとうございます。

星野栄一幹事

加藤ガバナーエレクト、本庄RCの皆様、本日は、ありがとうございます。

戸谷全克会員

加藤ガバナーエレクト、今晚は、お忙しい中、ご出張頂き、ありがとうございます。ご指導の程、お願い申し上げます。

浅田進 会員

加藤ガバナーエレクト、多忙の中、ありがとうございます。

本庄RCの皆様、ようこそ。

山田勝治会員

加藤ガバナーエレクト、本日は、ありがとうございます。

根岸良行会員

加藤ガバナーエレクト、本庄RCの皆様、本日は、よろしくお願いします。

小松政敏会員

加藤ガバナーエレクト、卓話、ありがとうございます。

奈良橋秋夫会員

加藤ガバナーエレクト、本日は、ありがとうございます。

よろしく、お願いします。

